

2012年3月期  
第2四半期決算説明会

2011年11月2日

ヤマハ株式会社

# 2012/3期 2Q決算の概要



## 2Qの外部環境

- 世界経済先行きに不透明感が増大
  - ・米国は景気回復の遅れ、欧州は財政・金融危機で景気への影響懸念
  - ・中国市場の成長鈍化
- 急激かつ大幅な円高進行

## 2Q(7~9月)の状況

- 対前年同期減収減益、対前回予想(8/1発表)では減収営業増益
- 売上高は、対前回予想では為替影響(▲29億円)を含め▲4.2%(▲39億円)の減収、対前年同期では、為替影響(▲23億円)を含め▲5.1%(▲47億円)の減収
- 営業利益は、対前回予想では為替影響(▲1億円)を含め8億円の増益、対前年同期では為替影響(▲2億円)を含め9億円の減益

## 上期の状況

- 対前年同期、減収減益、対前回予想では減収増益
- 売上高は、対前年同期、為替影響(▲47億円)を含め、▲77億円の減収
- 営業利益は、対前年同期、為替影響(▲15億円)を含め▲32.0%(▲30億円)の減益、対前回予想では為替影響(▲1億円)を含め14.6%(8億円)の増益

# 2012/3期 上期業績



▶ 対前年同期減収減益、対前回予想(8/1発表)では減収増益

(億円)

	11/3期 (上期) 実績	12/3期 (上期) 実績	前年 同期比	12/3期 (上期) 前回予想	予想比	12/3期 (2Q) 実績	11/3期 (2Q) 実績
売上高	1,843	1,766	▲4.2%	1,805	▲2.1%	887	934
営業利益 (営業利益率)	93 (5.0%)	63 (3.6%)	▲32.0%	55	+14.6%	32	41
経常利益 (経常利益率)	84 (4.5%)	53 (3.0%)	▲36.2%	50	+6.6%	26	35
当期利益 (当期利益率)	50 (2.7%)	28 (1.6%)	▲44.2%	25	+12.7%	23	28

為替レート (円)

売上高	US\$	89	80	83	78	86
	EUR	114	114	116	110	111
利益	US\$	89	80	84	78	87
	EUR	118	115	114	117	115

# 2012/3期 上期事業別業績

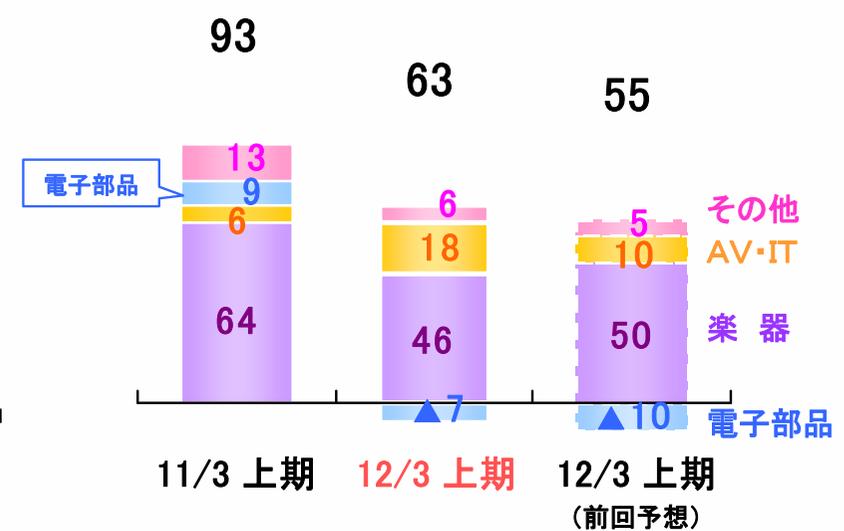
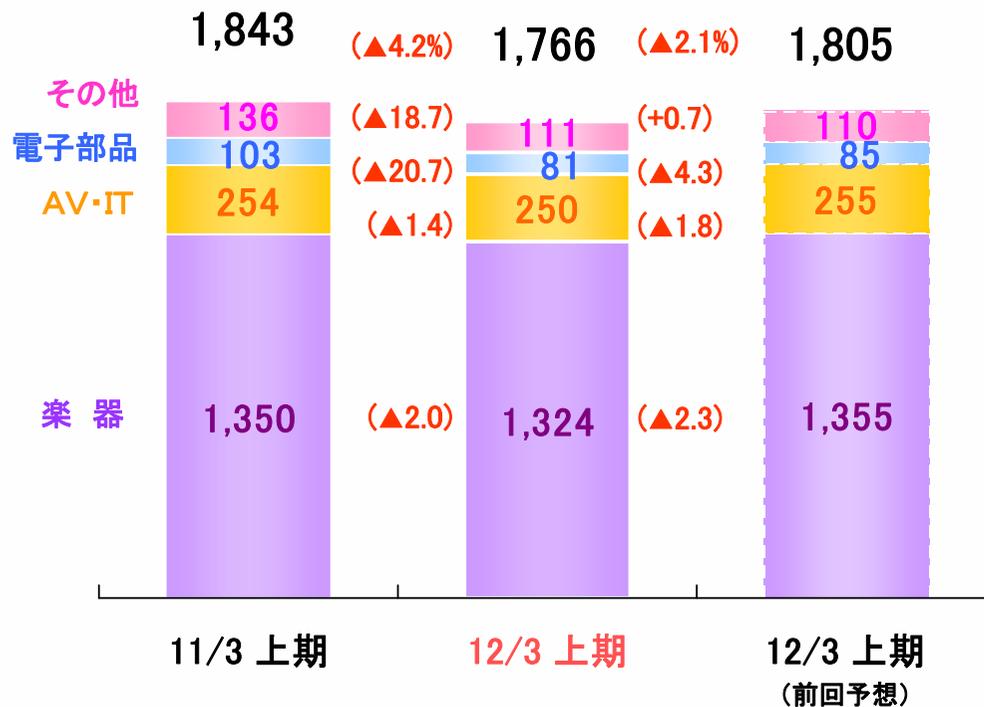


## 売上高

## 営業利益

(億円)

(億円)



( )内は前年同期比  
または  
前回予想比

	為替影響額
前年同期比較	▲47億円 (楽器 ▲38億円、AV·IT ▲7億円、 電子部品 ▲2億円)
前回予想比較	▲29億円 (楽器 ▲23億円、AV·IT ▲5億円、 電子部品 ▲1億円)

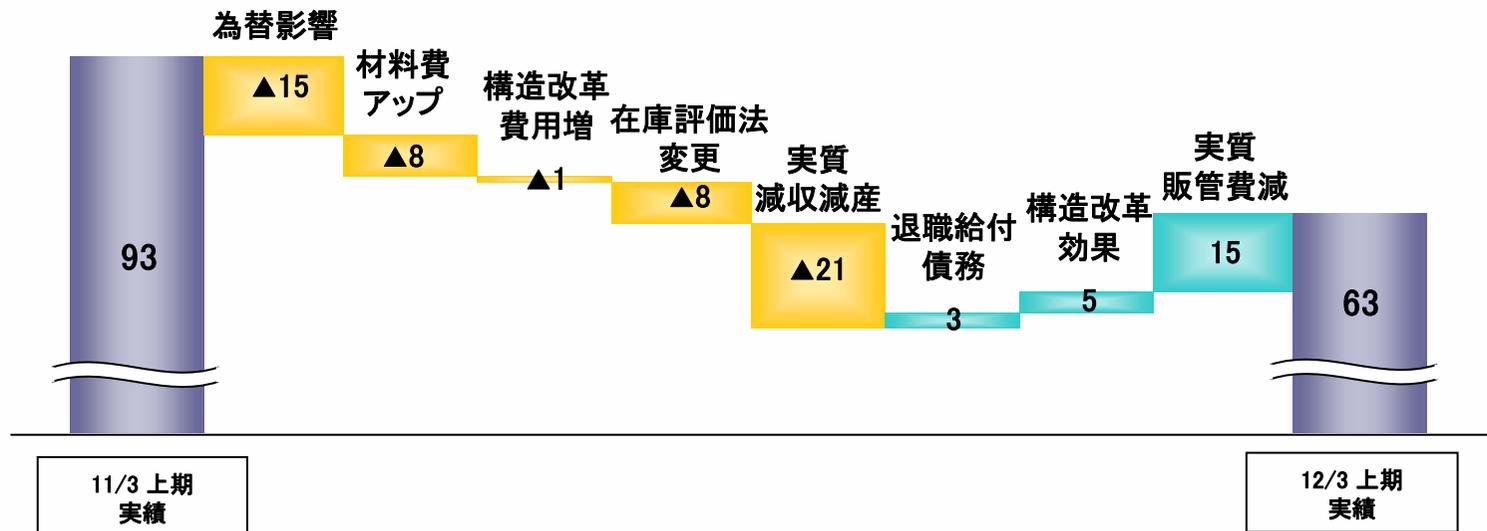
	為替影響額
前年同期比較	▲15億円 (楽器 ▲16億円、AV·IT +2億円、 電子部品 ▲1億円)
前回予想比較	▲1億円 (楽器 ▲3億円、AV·IT +2億円)

# 2012/3期 上期営業利益増減要因

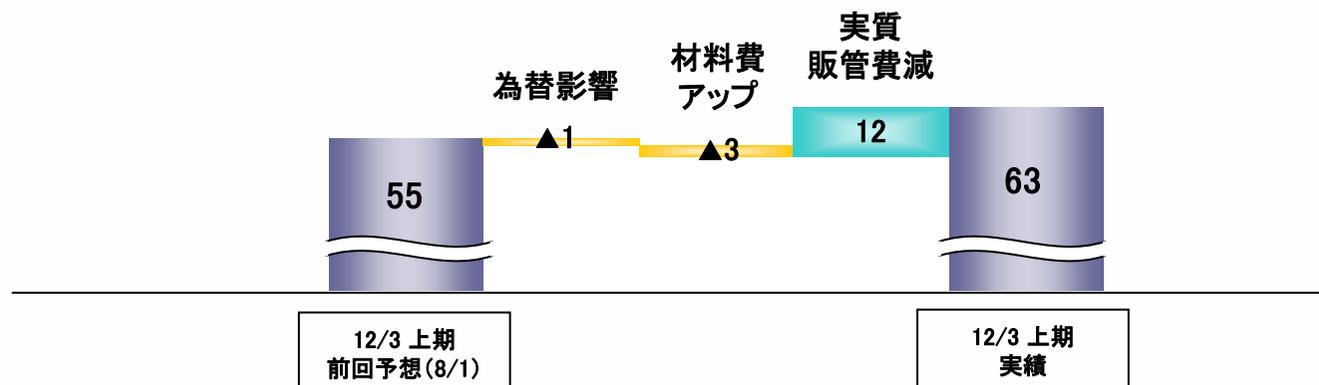


## 前年同期との比較

(億円)



## 前回予想との比較



# 2012/3期 下期の外部環境と通期業績見通し YAMAHA

## 下期の外部環境

- 世界経済の不透明感増大が継続
- 高水準での円高基調継続
- タイの洪水による企業活動への影響

## 通期の業績見込み

- 急激な円高の影響などを見込み、売上高は減収とするが、各種利益については据え置き。  
タイの洪水影響については精査中

## 下期の重点施策

- 需要期での商品供給確保と各市場での売上最大化
- 欧米市場の消費動向変化と高水準の円高対応の検討
- 中期計画に沿った経営基盤整備
  - ・中国・新興国市場での販売網整備と市場適合商品投入
  - ・管楽器の国内工場統合などの最適生産体制構築

# 2012/3期 通期業績予想



- ▶ 通期業績予想は、対前回予想減収、各利益は据え置き
- ▶ 下期のUS\$、EUR為替レートは各々80円、110円を前提

(億円)

	11/3期 実績			12/3期 今回予想			伸び率	12/3期 前回予想 (8/1発表)
	上	下	計	上	下	計		
売上高	1,843	1,895	3,739	1,766	1,924	3,690	▲1.3%	3,780
営業利益 (営業利益率)	93 (5.0%)	39 (2.1%)	132 (3.5%)	63 (3.6%)	62 (3.2%)	125 (3.4%)	▲5.1%	125
経常利益 (経常利益率)	84 (4.5%)	26 (1.4%)	110 (2.9%)	53 (3.0%)	52 (2.7%)	105 (2.8%)	▲4.3%	105
当期利益 (当期利益率)	50 (2.7%)	0 (—)	51 (1.4%)	28 (1.6%)	37 (1.9%)	65 (1.8%)	28.0%	65

## 為替レート (円)

売上高	US\$	89	82	86	80	80	80	84
	EUR	114	112	113	114	110	112	116
利益	US\$	89	82	86	80	80	80	84
	EUR	118	111	115	115	110	113	115

# 2012/3期 通期事業別業績予想



## 売上高

## 営業利益



( )内は前期比  
または  
前回予想比

	為替影響額
前期比較	▲65億円 (楽器 ▲51億円、AV・IT ▲12億円、 電子部品 ▲3億円)
前回予想比較	▲70億円 (楽器 ▲54億円、AV・IT ▲14億円、 電子部品 ▲2億円)

	為替影響額
前期比較	▲17億円 (楽器 ▲17億円、AV・IT +1億円、 電子部品 ▲1億円)
前回予想比較	▲13億円 (楽器 ▲11億円、AV・IT ▲1億円、 電子部品 ▲1億円)

# 東日本大震災の影響



➤ 前回の売上高▲117億円、営業利益▲40億円の影響想定から  
売上高▲95億円、営業利益▲35億円の影響想定に改善

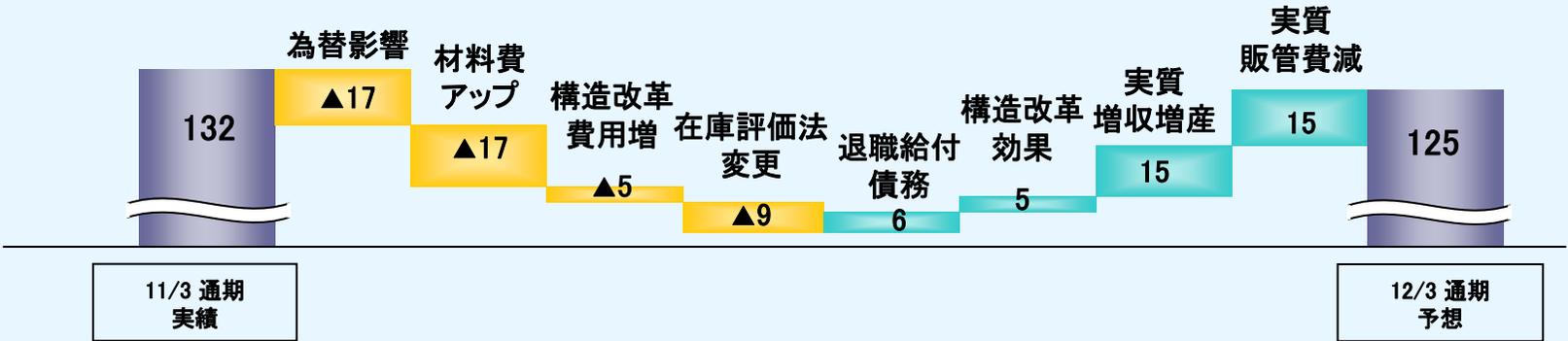
影 響		当初予想 (11/5/9発表)	前回予想 (11/8/1発表)	今回予想 (11/11/1)
部品調達困難 (主に電子楽器、AV機器)	売上高	▲92億円	▲64億円	▲49億円
	営業利益	▲33億円	▲19億円	▲17億円
国内消費の冷え込み	売上高	▲45億円	▲24億円	▲18億円
	営業利益	▲15億円	▲8億円	▲6億円
顧客の減産対応 (電子部品事業、その他の事業)	売上高	▲33億円	▲29億円	▲28億円
	営業利益	▲12億円	▲13億円	▲12億円
生産高影響		▲136億円	▲60億円	▲40億円

# 2012/3期 通期営業利益予想増減要因



## 前期との比較

(億円)



## 前回予想との比較



# 楽器事業

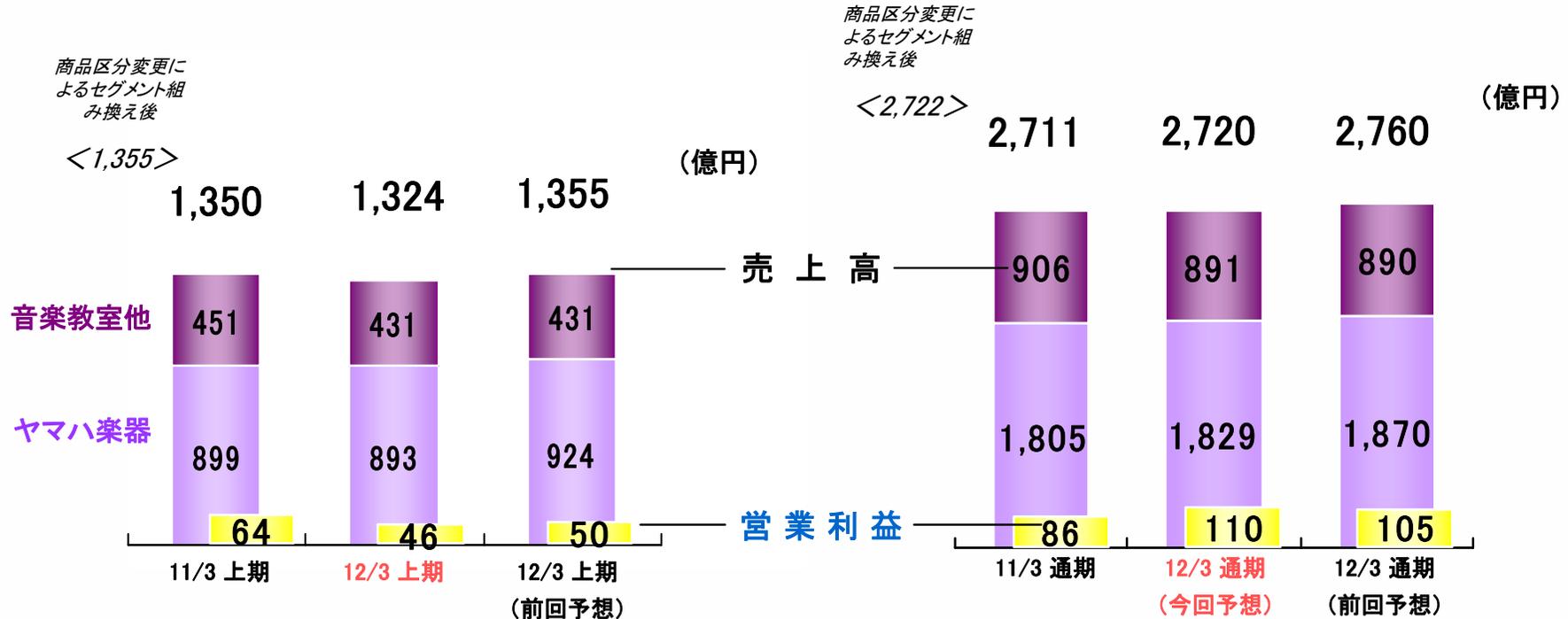


## 上期の状況

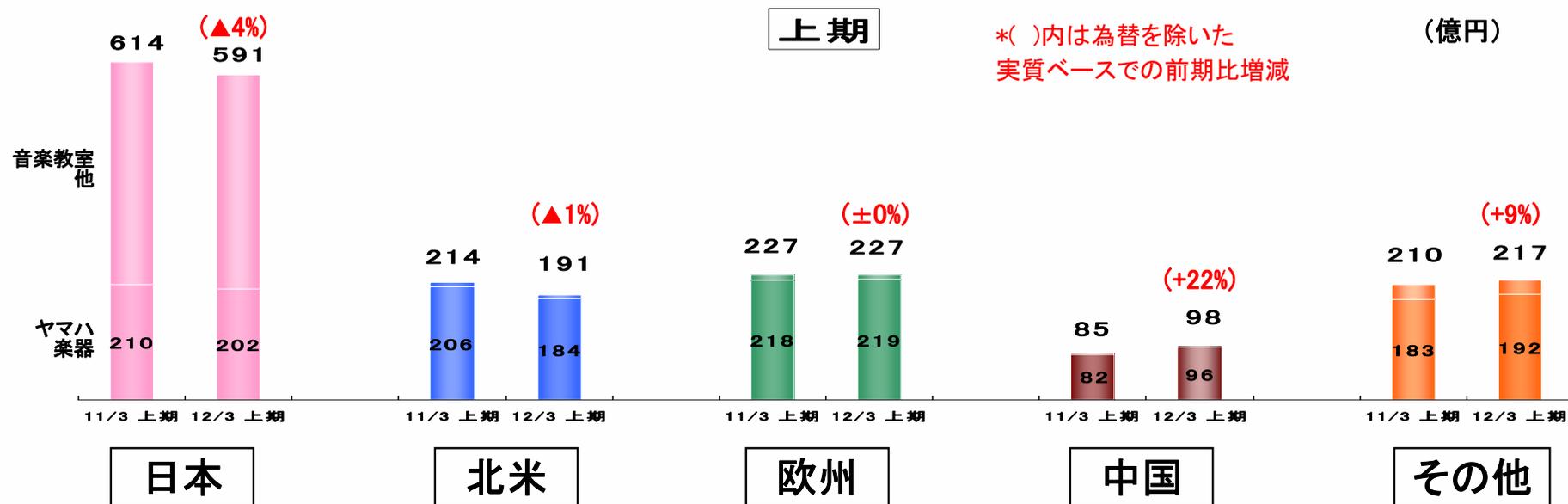
- ・対前年同期、前回予想ともに減収減益
- ・為替影響を除いた実質売上高は、対前年同期11億円の増収。対前回予想では実質9億円の減収
- ・電子楽器が部品調達影響により対前年同期減収となるがピアノ、PA機器、管楽器などが対前年同期増収
- ・営業利益は、対前年同期では為替影響及び部品調達難による製造損益悪化もあり減益、前回予想でも減益

## 通期予想と下期の重点施策

- ・対前回予想減収増益
- ・米国、欧州各先進国市場動向注視と為替対応の検討
- ・中国、新興国市場の着実な販売網整備
- ・エレクトーン等電子楽器の注残の解消
- ・国内管楽器工場の一元化推進



# 楽器事業(地域別の販売状況)

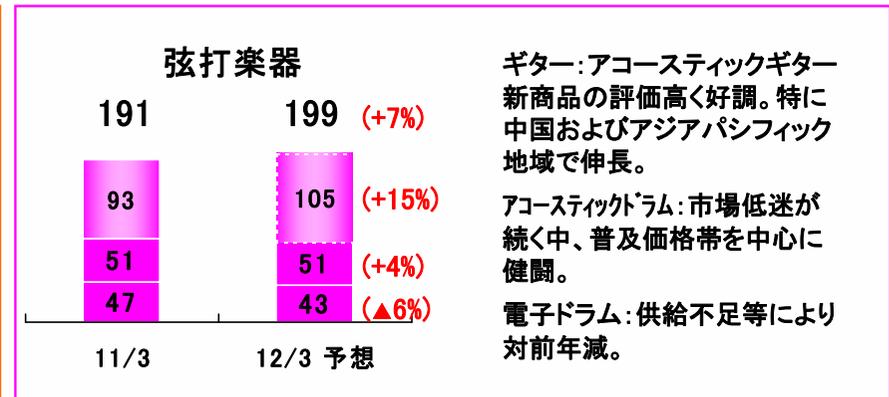
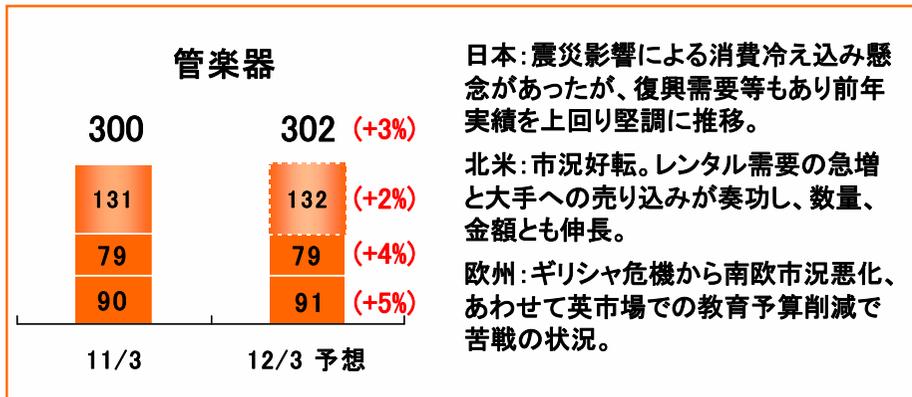
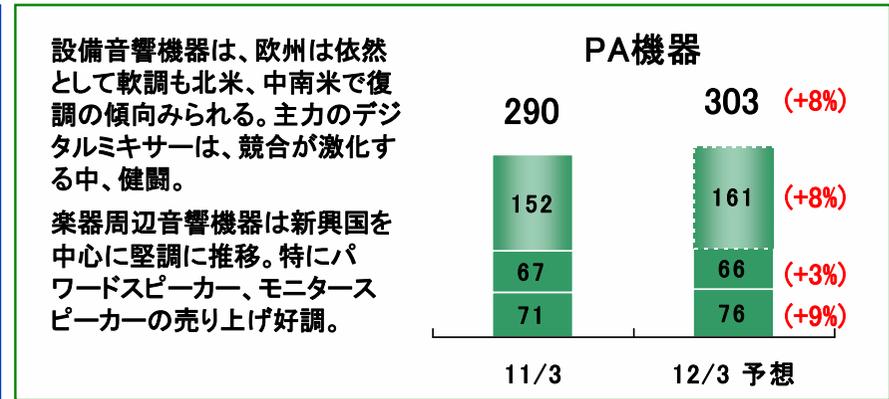
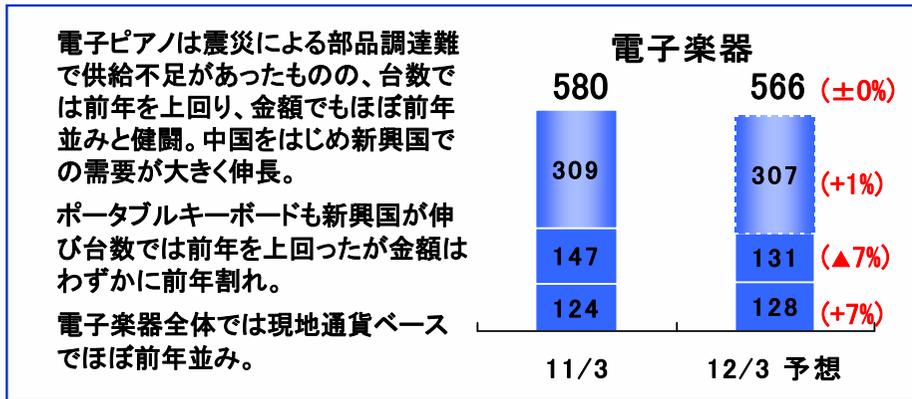
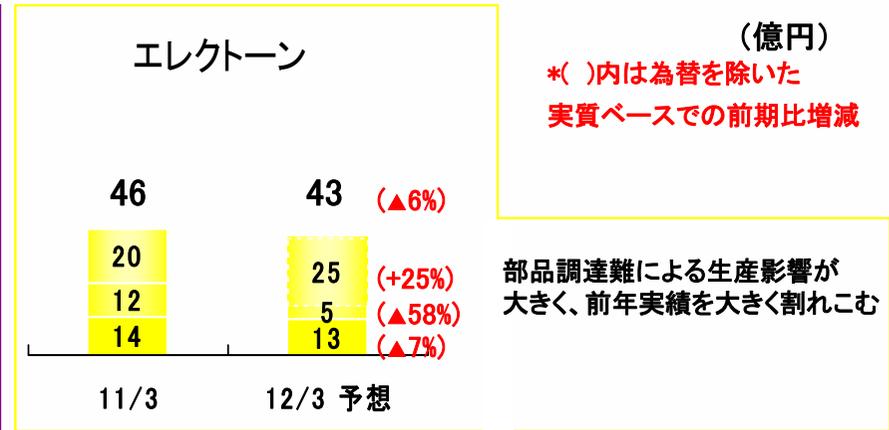
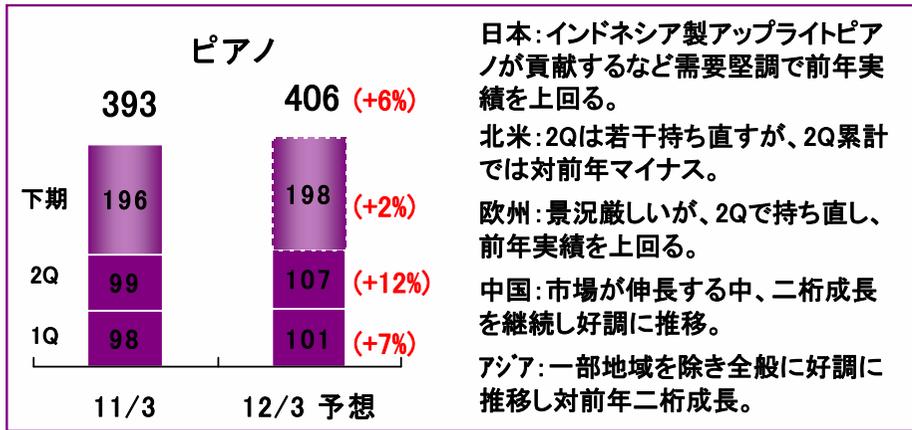


# 楽器事業(地域別の販売状況)



楽器地域別状況	
日本	震災後の市場停滞が徐々に回復。7月からエレクtoon、クラビノーバのメイン品番が、震災による部品調達難で生産調整を余儀なくされ、供給不足となるが、2Q累計では管楽器、電子ピアノが前年を上回る。音楽教室は、TVCM自粛等で春の生徒募集が不調に終わり、子どもの在籍数が前年比95%に止まる。
北米	楽器市場は回復基調にはあったが、高止まりの失業率を背景に消費に陰りが出ている。また、震災影響により売玉不足になっているクラビノーバや生産の遅れから供給が追いついていない管楽器、アコースティックギター、電子ドラムの一部で注残を抱え、販売苦戦。一方で、グランドピアノの販売回復や管楽器の学校レンタル向けの出荷が堅調に進むなど明るい兆しも見えてきている。また、普及価格帯に投入したシンセサイザーMOXシリーズが好調に推移。
欧州	南欧はスペイン、フランスが特に低調。好調だったドイツ等中欧の売り上げも鈍化。東欧、トルコなど新興国市場は堅調。市場全体では、8月後半以降、スクール需要により客足が戻り、出荷も持ち直すが、消費は依然停滞している。小売業におけるWEB通販の比重がますます高まっている。
中国	景気拡大のテンポがやや緩やかになる中、販売網の地方都市への拡大と専門店の育成に取り組み、売り上げが大きく伸長。専門店の育成においては、グランドピアノの展示拡充やギター専門店の開拓など高額品の販売可能性を広げることができた。商品ではアップライトピアノ(15,800円など)で市場のボリュームゾーンへ一歩近づくモデルを投入するなど中国向けラインアップを拡大した。
その他の地域	2Q累計売り上げでは地域内の13現地法人のうち10現地法人で前年を上回っており、全体でも前年を上回った。特にインド、ロシア、タイでは、20%以上の伸びを見せている。2Qに入って震災による部品調達難で供給問題が本格化し、電子楽器で販売機会損失があったものの、ピアノ、ギター、PA機器が堅調で、対前年二桁の成長。MOXシリーズ導入後シンセサイザーも好調。

# 楽器事業(商品群別の販売状況)

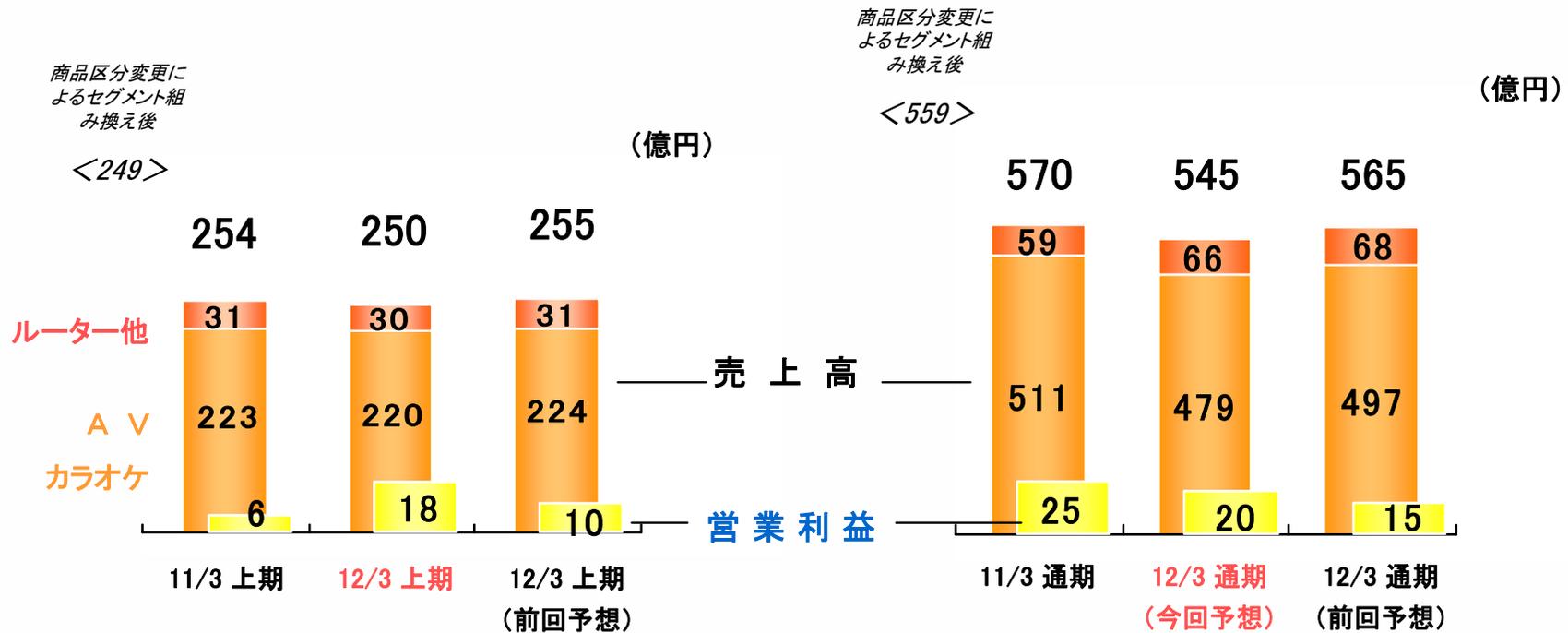


## 上期の状況

- ・対前年同期、前回予想とも減収増益
- ・為替影響を除いた実質売上高は、対前年同期4億円の増収
- ・オーディオ、カラオケ機器共に対前年同期増益

## 通期予想と 下期の重点施策

- ・対前回予想減収増益
- ・北米、欧州、国内等先進国市場への新商品の着実な供給
- ・テレビ関連フロントサラウンドでのボリュームゾーン強化  
日本市場での販売維持

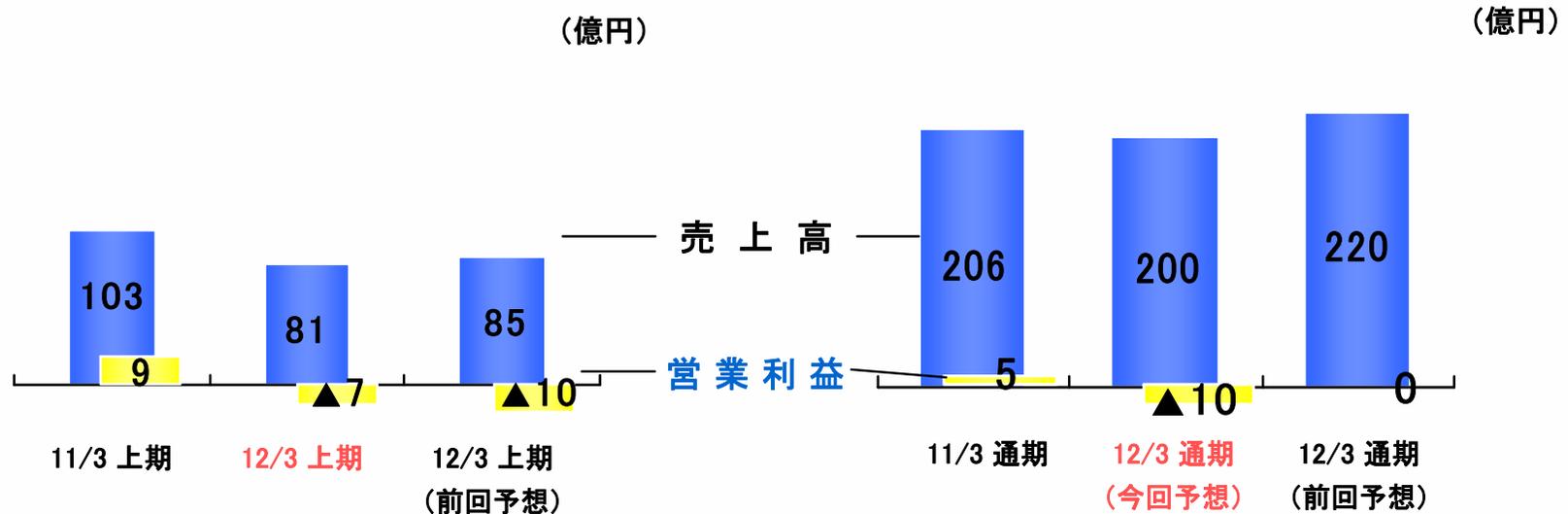


## 上期の状況

- ・対前年同期、減収減益、対前回予想でも減収
- ・売上高は、震災による顧客の減産対応影響に加え従来型携帯の販売低迷により携帯電話用音源LSIが減少  
アミューズメント用画像LSIも対前年同期減収
- ・営業利益は減収幅大きく対前年同期で減益も対前回予想では損失改善

## 通期予想と下期の重点施策

- ・対前回予想減収減益
- ・アミューズメント市場での回復基調を確実にとらえ画像用LSI等の販売拡大に注力
- ・次の成長を担う商品開発のスピードアップ
- ・販売管理費等の一層の圧縮による損益改善



# その他の事業

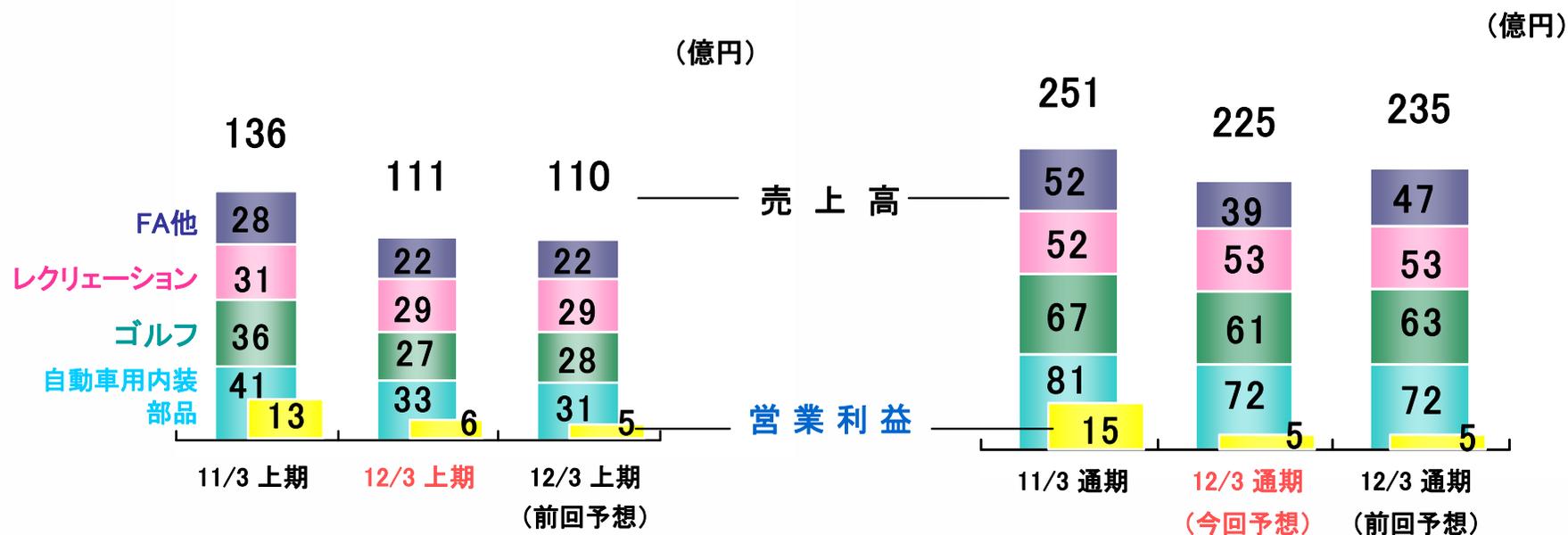


## 上期の状況

- ・対前年同期減収減益
- ・自動車用内装部品は対前年同期では減収も自動車メーカー生産回復で対前回予想では増収
- ・ゴルフは市場環境、競合他社攻勢もあり対前年同期減収
- ・レクリエーションは需要期集客健闘も対前年同期減収

## 通期予想と下期の重点施策

- ・対前回予想減収
- ・自動車用内装部品は自動車メーカー生産回復に対する確実な供給
- ・ゴルフは、下期の新商品投入と中国市場への本格的参入



# 設備投資額・減価償却費/研究開発費

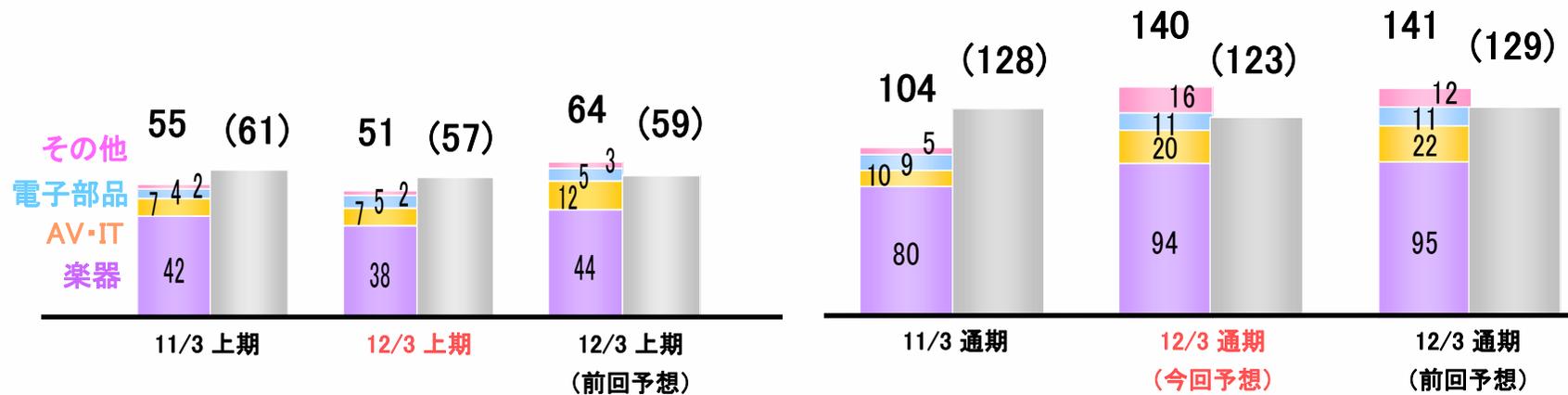


## 設備投資額(減価償却費)

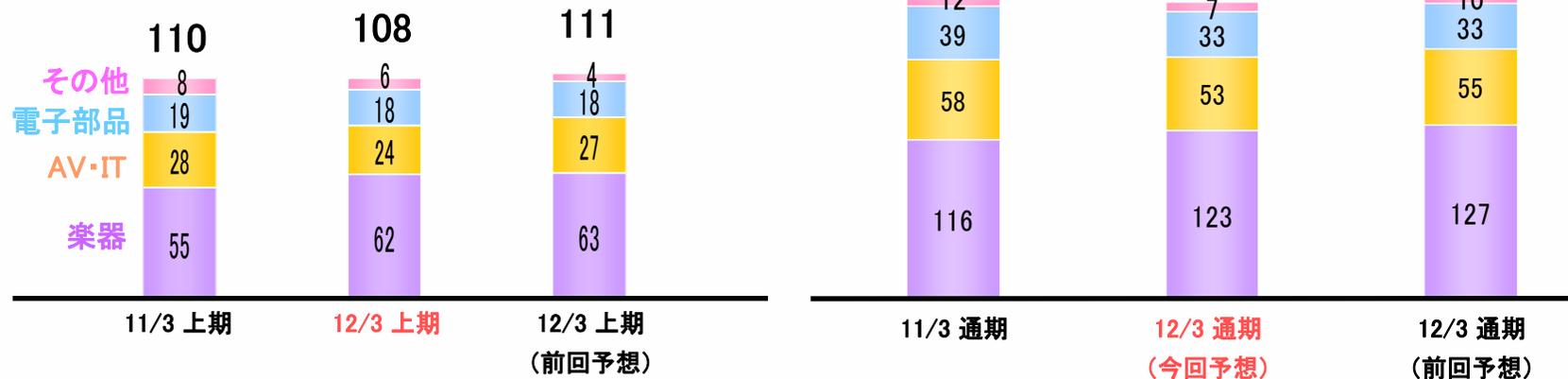
(億円)

上期

通期



## 研究開発費



# 棚卸資産



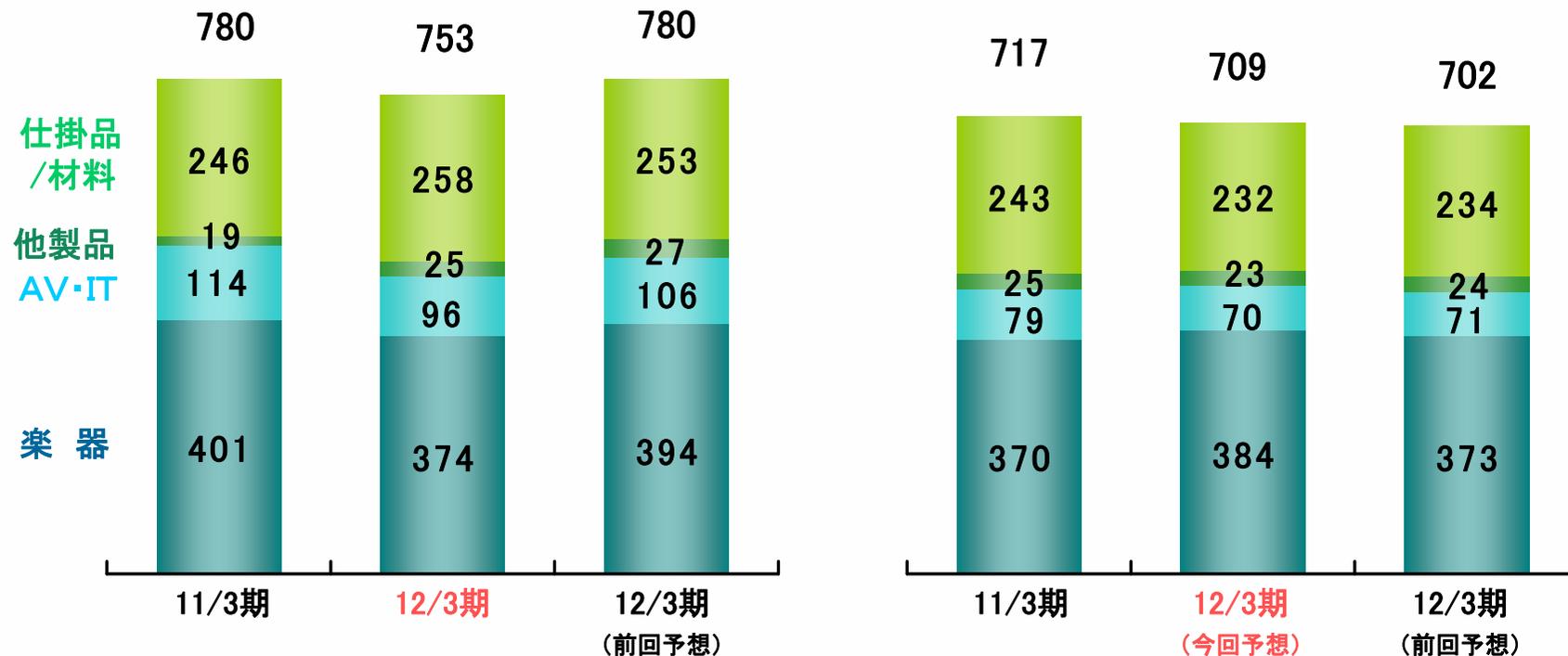
➤9月末総在庫は対前年同期26億円の減少  
 (為替影響▲46億円を除けば実質20億円の増加)

➤前回予想に対しては、為替影響を除けば、実質25億円の増加

上 期 末

期 末

(億円)



為替影響

▲46

▲52

▲15

▲16

# 貸借対照表



(億円)

	上期末			期末予想		
	10/9末	11/9末	増減	11/3末	12/3末	増減
現預金	518	556	38	587	638	51
売上債権	508	459	▲50	451	433	▲18
棚卸資産	780	753	▲26	717	709	▲8
他流動資産	182	166	▲16	192	155	▲37
固定資産	1,959	1,825	▲134	1,962	1,839	▲123
<b>資産計</b>	<b>3,946</b>	<b>3,759</b>	<b>▲188</b>	<b>3,909</b>	<b>3,774</b>	<b>▲135</b>
仕入債務	239	223	▲16	242	233	▲9
借入金	222	183	▲39	118	92	▲26
リゾート預託金	160	157	▲3	159	158	▲1
他負債	899	927	27	940	992	52
純資産計	2,426	2,268	▲157	2,450	2,299	▲151
<b>負債純資産計</b>	<b>3,946</b>	<b>3,759</b>	<b>▲188</b>	<b>3,909</b>	<b>3,774</b>	<b>▲135</b>

※現預金残高には譲渡性預金を含む

# 付属資料

# 2012/3期 2Q業績



➤2Qは、対前年同期減収減益、対前回予想では減収営業増益

(億円)

	11/3期 (2Q) 実績	12/3期 (2Q) 実績	前年同期比	12/3期(2Q) 前回予想 (8/1発表)	前回予想比
売上高	934	887	▲5.1%	926	▲4.2%
営業利益	41	32	▲22.3%	24	+33.3%
経常利益	35	26	▲26.7%	30	▲14.4%
当期利益	28	23	▲18.5%	27	▲14.3%

為替レート

(円)

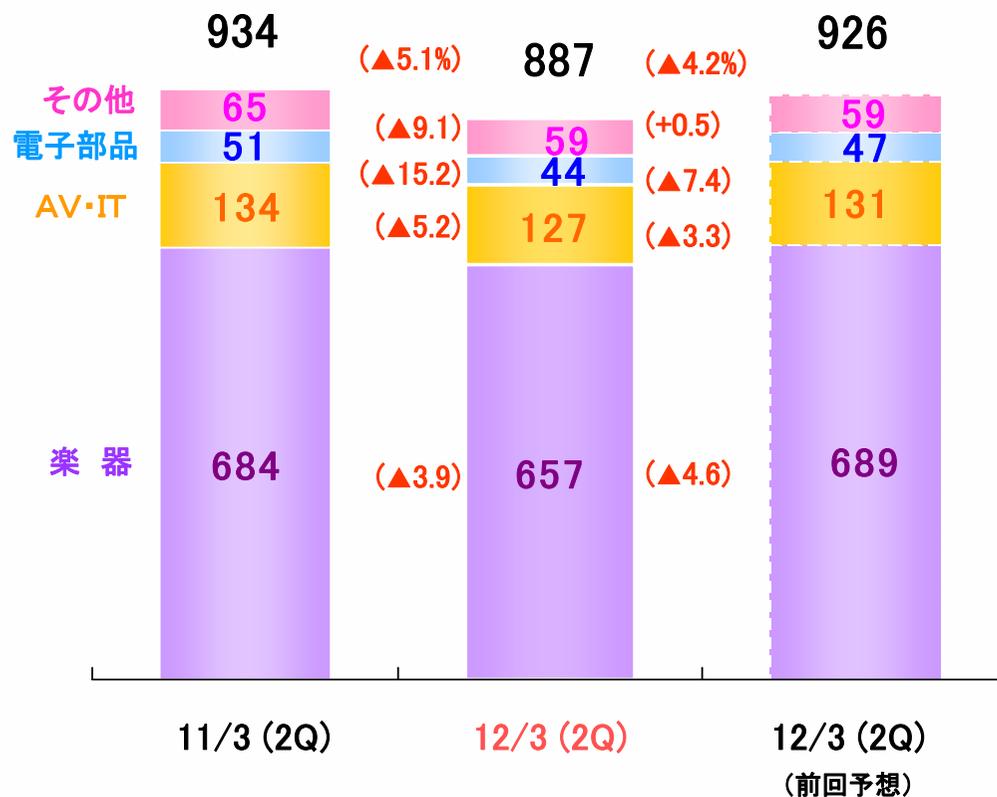
売上高	US\$	86	78	85
	EUR	111	110	115
利益	US\$	87	78	85
	EUR	115	117	115

# 2012/3期 2Q事業別業績



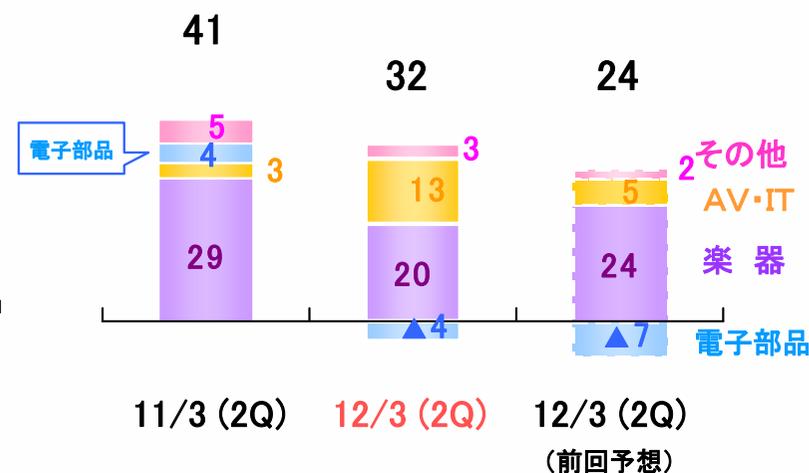
## 売上高

(億円)



## 営業利益

(億円)



( )内は前年同期比  
または  
前予想比

	為替影響額
前年同期比較	▲23億円 (楽器 ▲19億円、AV・IT ▲3億円、電子部品 ▲1億円)
前予想比較	▲29億円 (楽器 ▲23億円、AV・IT ▲5億円、電子部品 ▲1億円)

	為替影響額
前年同期比較	▲2億円 (楽器 ▲3億円、AV・IT +2億円)
前予想比較	▲1億円 (楽器 ▲3億円、AV・IT +2億円)

# 2012/3期 上期営業外損益、特別損益



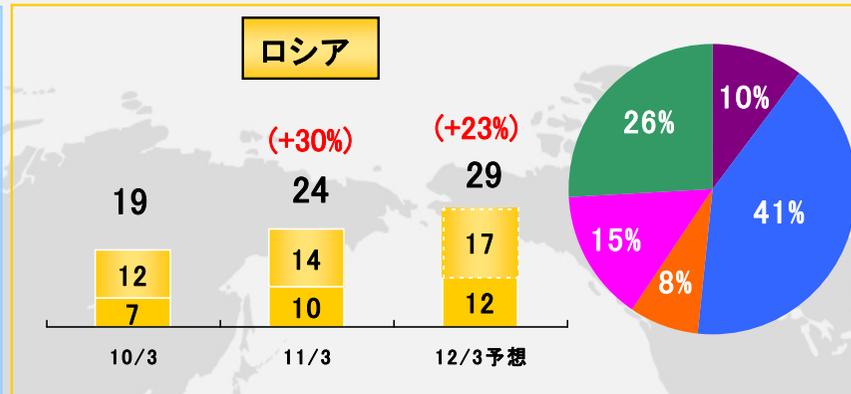
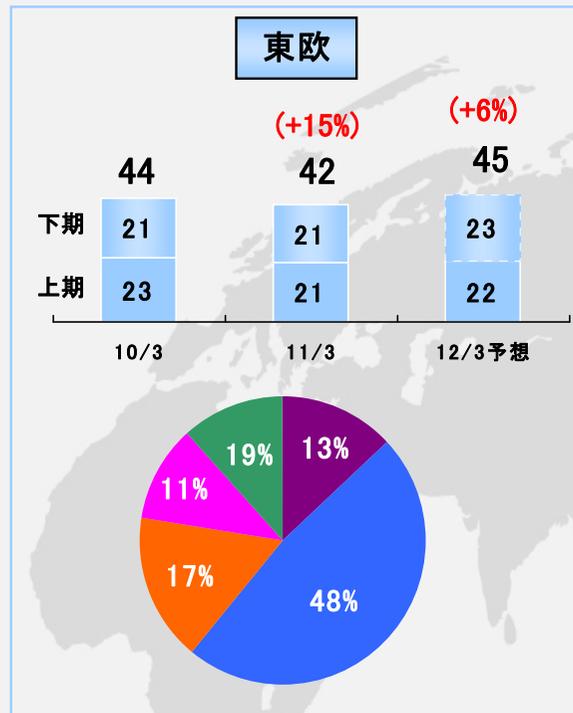
	11/3期(上期)実績	12/3期(上期)実績	12/3期(上期)前回予想
(億円)			
<b>営業外損益</b>			
金融収支	5	4	3
その他	▲14	▲14	▲8
計	▲9	▲10	▲10
<b>特別損益</b>			
		投資有価証券評価損 ▲17	
固定資産処分損益	▲1	0	▲2
その他	▲15	▲3	▲3
計	▲16	▲3	▲5
<b>法人税他</b>			
法人税等	28	19	18
法人税等調整額	▲13	1	
少数株主利益	2	2	2
計	17	22	20

# 2012/3期 通期営業外損益、特別損益

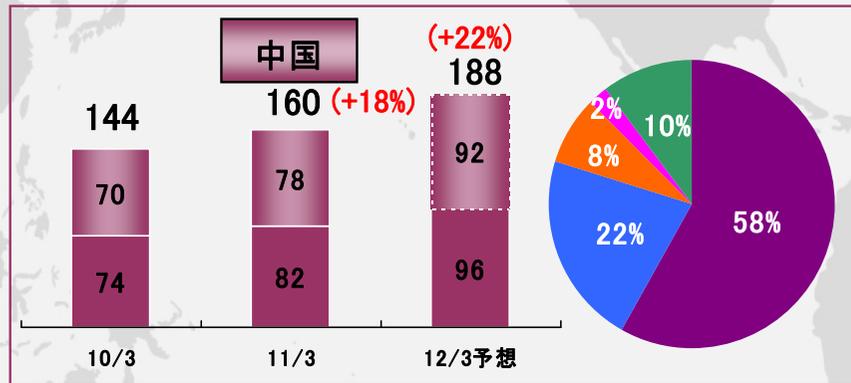


	11/3期 実績	12/3期 今回予想	12/3期 前回予想
(億円)			
<b>営業外損益</b>			
金融収支	7	8	4
その他	▲29	▲28	▲24
計	▲22	▲20	▲20
<b>特別損益</b>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資有価証券評価損 ▲15</li> <li>・減損損失 ▲27</li> </ul>	
固定資産処分損益	▲2	▲2	▲3
その他	▲40	▲3	▲2
計	▲42	▲5	▲5
<b>法人税他</b>			
法人税等	43	26	30
法人税等調整額	▲30	7	3
少数株主利益	4	2	2
計	17	35	35

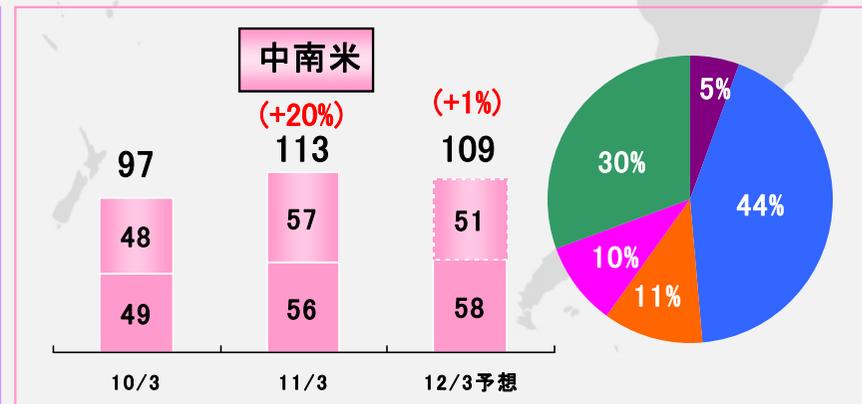
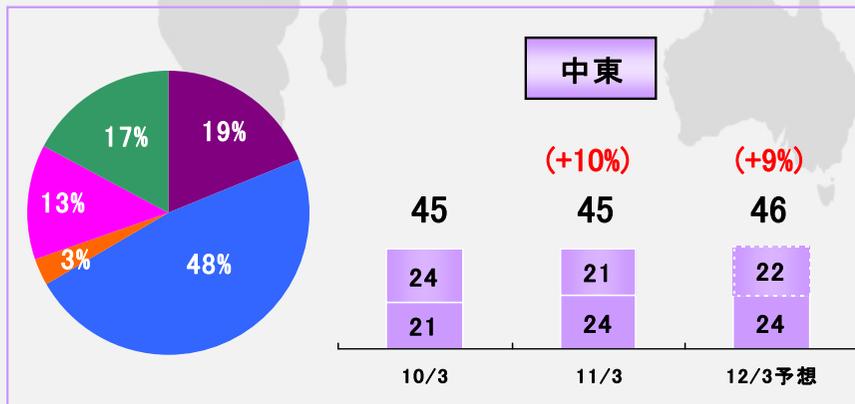
# 楽器事業(新興国市場の販売状況)



- (億円)
- ピアノ
  - 電子楽器
  - 管楽器
  - 弦打楽器
  - PA機器



\*( )内は為替を除いた  
実質ベースでの前期比増減



# 楽器四半期別売上高／営業利益

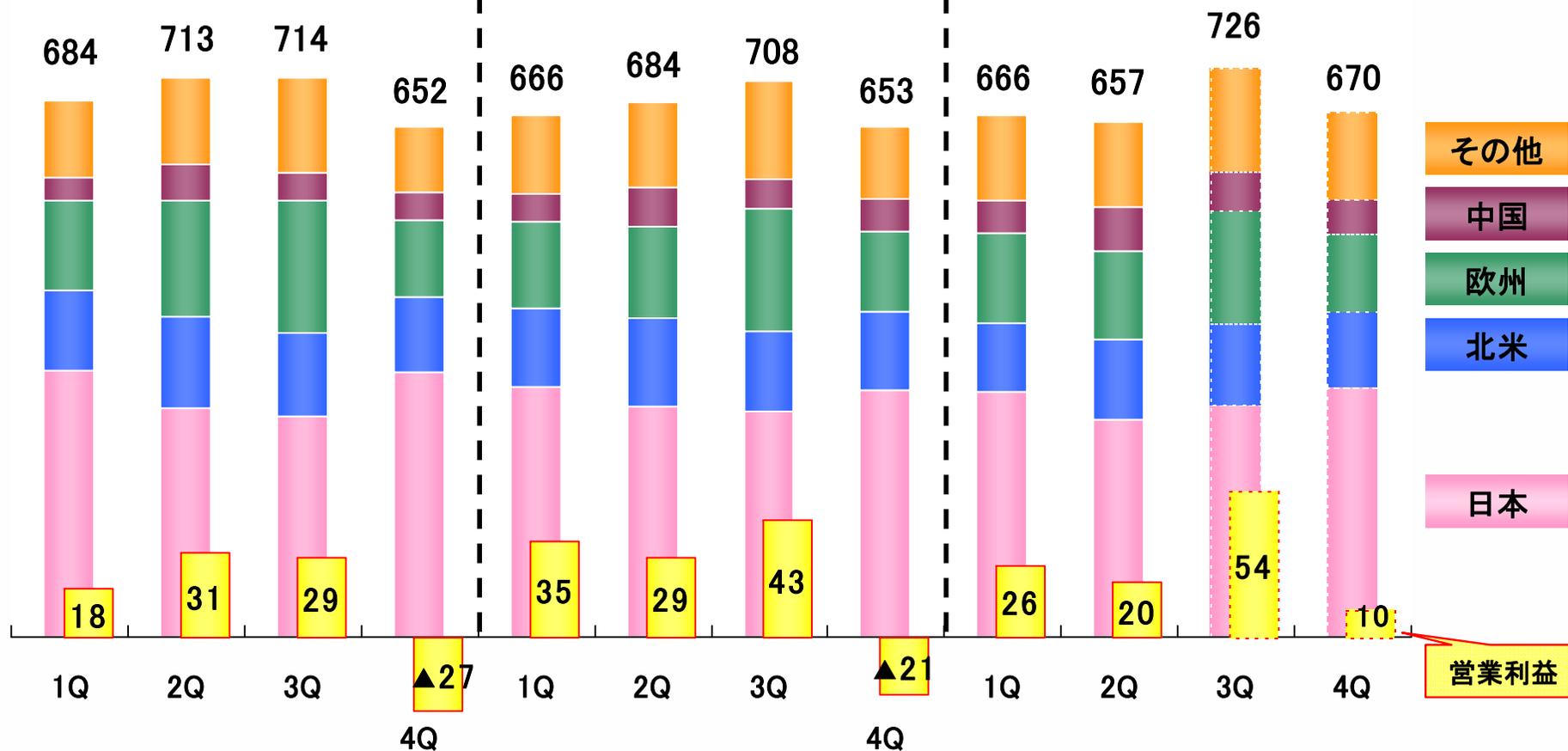


売上高 2,763億円  
営業利益 51億円

売上高 2,711億円  
営業利益 86億円

売上高 2,720億円  
営業利益 110億円

(億円)



10/3期

11/3期

12/3期(予想)

# AV・IT四半期別売上高／営業利益

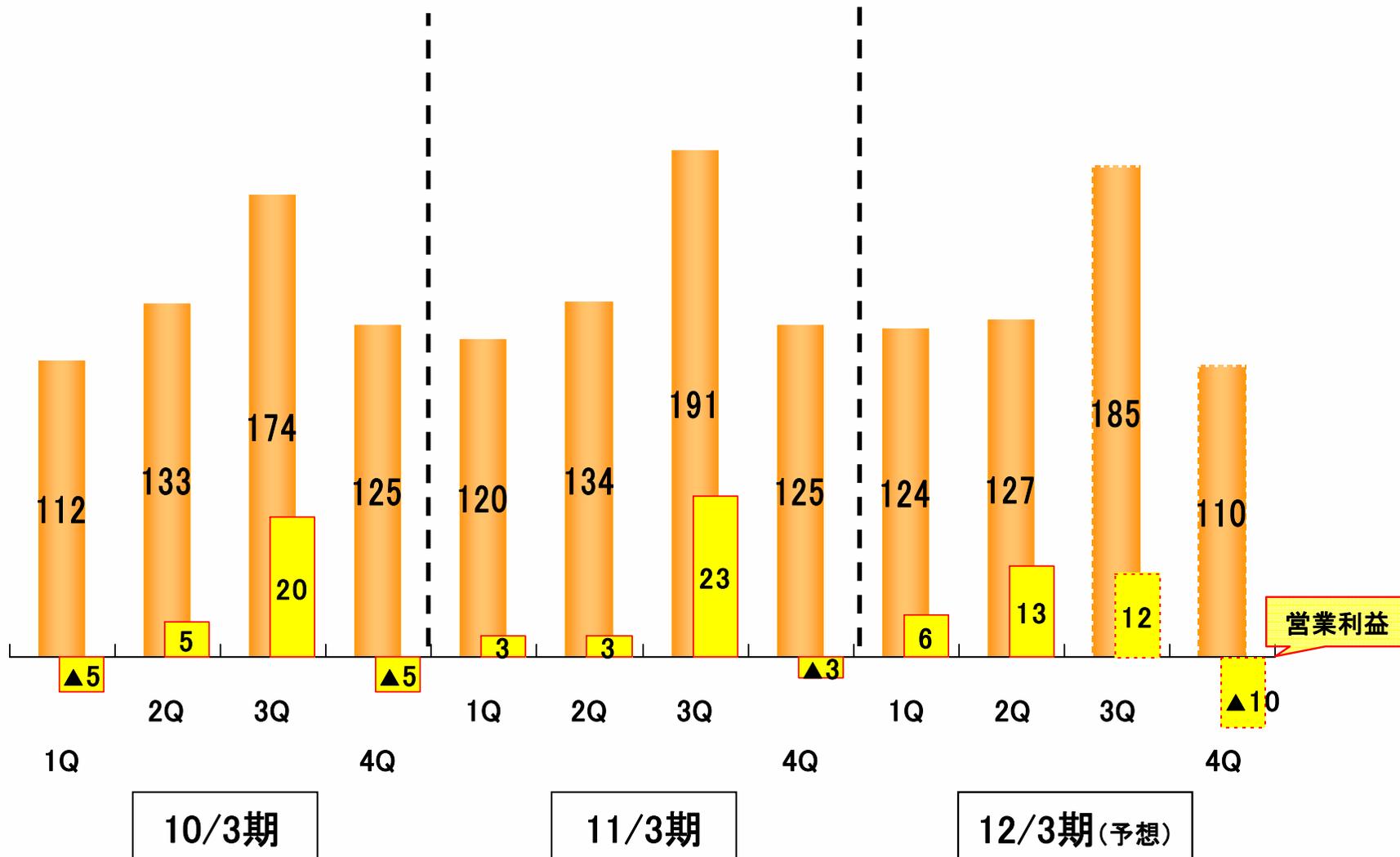


売上高 544億円  
営業利益 14億円

売上高 570億円  
営業利益 25億円

売上高 545億円  
営業利益 20億円

(億円)



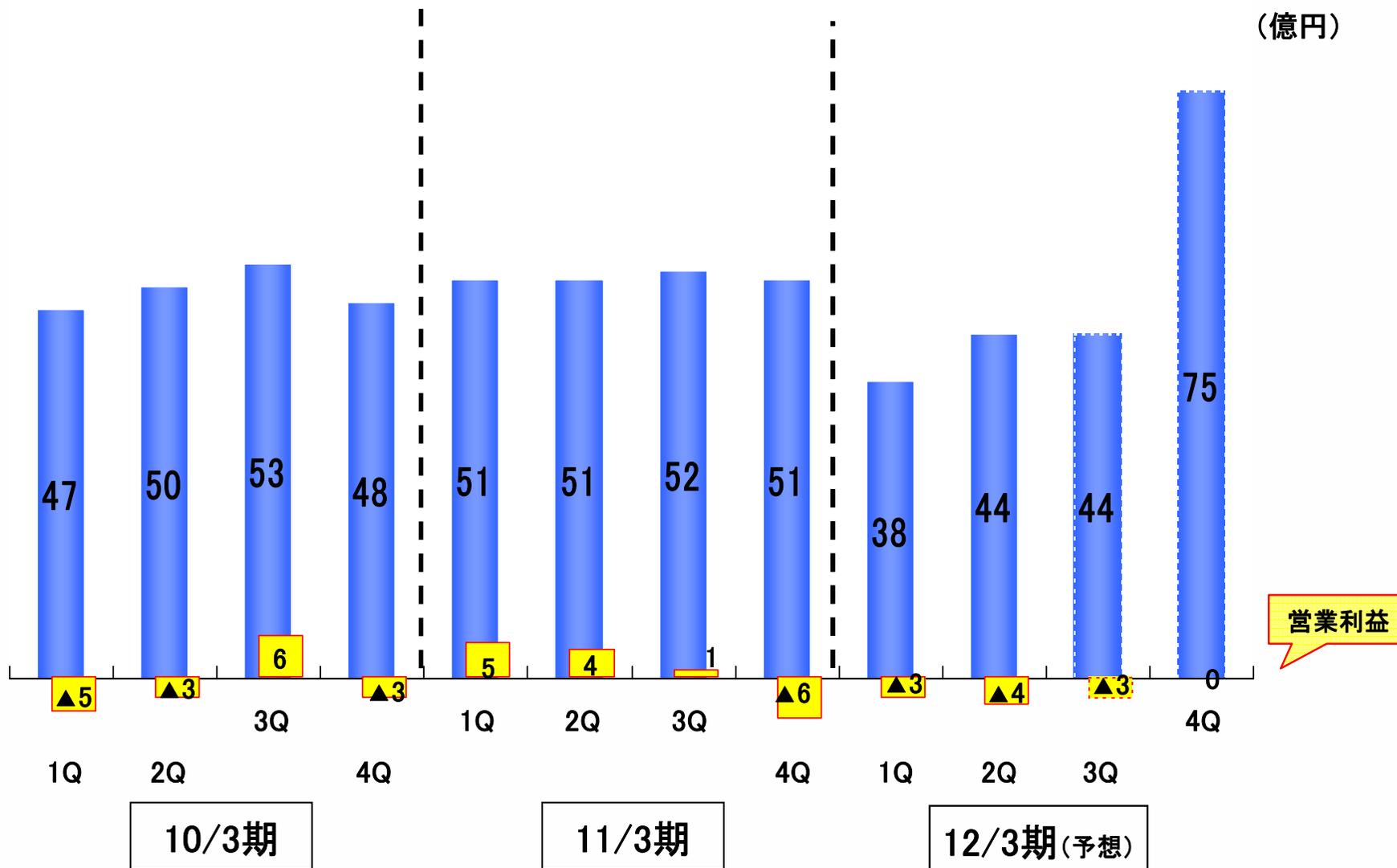
# 電子部品四半期別売上高／営業利益



売上高 197億円  
営業利益 ▲6億円

売上高 206億円  
営業利益 5億円

売上高 200億円  
営業利益 ▲10億円



# その他四半期別売上高／営業利益

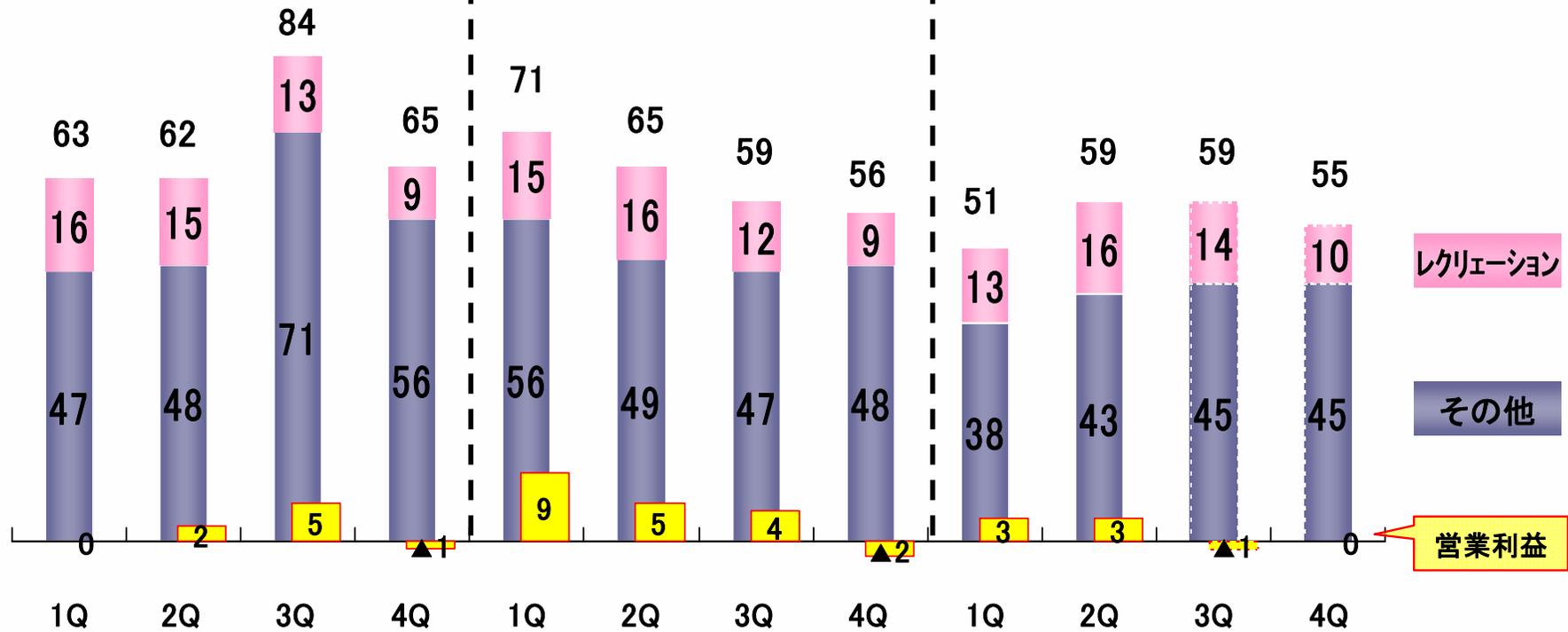


売上高 275億円  
営業利益 5億円

売上高 251億円  
営業利益 15億円

売上高 225億円  
営業利益 5億円

(億円)



10/3期

11/3期

12/3期(予想)

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。